

授業科目	産科・婦人科学（講義・演習，演習・実習）（日本産科・婦人科学会専門医）（臨床専門医コース）		
取得する専門医の名称	日本産科・婦人科学会専門医		
区分・単位	講義・演習 2単位 演習・実習 4単位	関連分野等	小児科学、外科学、内科学、放射線科など
年次・期別	1年次-2年次	曜日・時限	（講義・演習）月・水・木：午前8時～9時、午後8時～10時、木：午後5時30分～午後10時 （演習・実習）月～金終日
教室	産科・婦人科研究室、周産母子センター 婦人科病棟、中央手術場、	担当者電話番号	中村圭一郎 内線 7320
担当教員	【研究科】教授：平松祐司 准教授：児玉順一 【病院】准教授：増山 寿 講師：本郷淳司 助教：関 典子、助教：鎌田泰彦 助教：中村圭一郎、助教：瀬川友功、助教：楠本知行、助教：増本由美、助教：井上誠司		
一般目標	産婦人科学に関わる広い学識と高度の専門技能を取得し、産婦人科専門医としての素養を養う。		
到達目標	1. 産婦人科研修の必修知識に則って産婦人科学を修得し、それを理解し専門医試験に合格する能力を大学院終了までに獲得する。 2. 産婦人科学的診断、治療法を学び、手術の意義と目的を理解し、手技の実践ができる。 3. 産婦人科学の臨床研究を理解でき、自ら研究を施行し、大学院終了時までには博士論文が専門分野の雑誌に掲載あるいは受領される。		
講義概要	1) 産婦人科学講義（講義・演習） 周産期学、婦人科腫瘍学、生殖・内分泌学、手術法などについて学習する。 2) 症例レポートの作成（臨床実習）（演習・実習） 指導医の下で日本産科婦人科学会専門医試験の受験資格に定められた症例数以上を経験し、そのレポートを作成する。 3) 各種手術の施行（臨床実習）（演習・実習）（平松、児玉、増山、本郷、関、鎌田、中村、瀬川、楠本、井上）指導医の下で日本産科婦人科学会専門医試験の受験資格に定められた症例数以上の手術を施行して手技を修得する。また、治療を施行した患者の管理を学ぶ。 4) 症例検討会（演習）（講義・演習）（平松、児玉、増山、本郷、関、鎌田、中村、瀬川、楠本、増本、井上） 分野内では毎週木曜日朝の症例検討会、毎週木曜日夜のカンファレンスに出席し、論文抄読を行い、最新の知識も身に着けるよう努める。また、病院内の各科横断型のカンファレンス（放射線科カンファレンス、病理カンファレンスなど）に参加してさらに専門的な知識を学ぶ。 5) 各種セミナー（演習）（講義・演習） 分野内では定期的に行われるリサーチカンファレンスに参加し様々な研究の検証課程を学ぶ共に自らの臨床研究についても積極的に発表する。また、学会や専門医会などの主催する様々なセミナーに出席して産婦人科学の基礎から最先端の内容を学ぶ。 6) 学会参加（講義、演習） 日本産科婦人科学会学術講演会、地方会、関連学会に参加して、発表者の論理展開を理解する。また、自らも大学院終了時までには日産婦学会2回、地方会・関連学会2回の発表を行う。		
テキスト・参考書等	専門書から論文まで多岐にわたるため、その都度指示する。また、インターネットを通じて自らが関連する文献を検索する。		
成績評価基準 成績評価方法	1週間に3回、教授・指導者を交えて、産婦人科学に関する議論を展開する。その内容と、日頃の診療姿勢、セミナーに対する姿勢などから総合的に判断する。		
研究活動との 関連	研究室では産婦人科学に関する臨床・研究を行っており、その延長上に、この授業科目が存在している。		

基礎実習	研究に必要な基礎的手技を学ぶ
臨床実習	臨床実習は手術予定日が水曜日、金曜日であり、指導医の下で、アシスタント、または、オペレータとして、日本産科婦人科学会専門医試験の受験資格に定められた症例数以上の手術を施行して手技を修得する。また、術前、術後の患者の管理を学ぶ。
症例検討会	<p>全体の症例検討会は毎週木曜日の朝、 産科症例は月 ー金 17時15分ー 婦人科症例は 水、金曜日の術後回診後</p>
講義日程	<p>講義は、毎月第3木曜日午後7時00分より産婦人科医局図書室にて行う。現時点の講義予定を以下に示す。変更になる場合には、登録大学院生に事前に通知する。</p> <p>2009/04/16 平松祐司 産婦人科手術における留意点  2009/05/21 児玉順一 婦人科悪性腫瘍に対する標準的化学療法  2009/06/18 増山 寿 妊娠高血圧症候群ー基礎から臨床へー  2009/07/16 本郷淳司 HPV感染と子宮頸癌  2009/08/20 関 典子 婦人科悪性腫瘍と深部静脈血栓症  2009/09/17 鎌田泰彦 性ホルモン製剤の使用法の実際  2009/10/22 中村圭一郎 婦人科腫瘍における画像診断と治療の歩み  2009/11/19 瀬川友功 産科出血への対応  2009/12/17 楠本知行 婦人科手術に必要な骨盤内解剖学  2010/01/21 増本由美 胎児診断の重要性  2010/02/18 井上誠司 分娩周辺期の合併症とその対処法</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>第61回 日本産科婦人科学会、2009年4月3-5日（京都）  第46回 日本婦人科腫瘍学会 2009年7月10-12日（新潟）  第45回 日本周産期・新生児医学会 2009年7月12-14（名古屋）  第46回日本生殖医学会中国四国支部学術講演会 2009年8月29日（岡山）  第62回 日本産科婦人科学会中国四国合同地方部会 2009年9月26-27日（米子）  第14回 日本生殖内分泌学会 2009年11月28日（東京）  第10回 腎と妊娠研究会 2010年3月6日（岡山）</p>